

## 兵庫県公立高校の学区再編を考える —2015年度より実施—

ご承知のように平成27年度より、兵庫県の公立入試制度が大きく変わります。通学区が16区から5区に再編されます。通学区が大きく拡大されることで、受験生の皆さんにとっては、どの高校に通うかという選択肢が広がることになります。

### ◎メリットとデメリット

この学区の再編によって①学校選択の可能性が広がる②生徒獲得競争のため、高校側は教育の質の向上に努めるというメリットはありますが、塾側にとっては、①新学区の高校の知識が少ない②今までのデータは使えなくなるというデメリットもあります。また、受験生にとっては不本意な遠距離通学が生じるという問題点もあります。

### ◎学区再編に対して

学区再編に伴って、必要とされることは、まず、進学先として選択可能な高校をよく知ること。どんな指導方針で、どんな特徴があって、どんな学科・コースがあるのか？部活動や学校行事、進路指導実績は？といった点を調査することです。高校のことをよく調べ、実際に足を運ぶなどし、「行ける学校選び」ではなく「行きたい学校選び」を行うことです。また、「行きたい学校」をピックアップしたなら、模試などで、「行きたい学校」を志望する全中学生の中で自分は今の位置にいるのか？ということを知ることが大切です。

### ◎新学区と受験のしくみの変更点

新学区は、従来の加印学区（9校）はこれに明石学区（6校）と北播学区（9校）が加わって、24校の第3学区になります。学区再編に伴う受験のしくみもかなり変更されました。その第一が「その他希望」が廃止されたことです。「その他希望」とは、第一・第二志望校がともに不合格の場合、定員割れした高校に滑り込める仕組みです。第二に従来では1校単独受験しかできなかった、総合学科と単位制の高校が複数受験できるようになったことです。例えば、総合学科は第一志望に加古川南高校・第二志望に明石南高校とすることができます。しかし、加古川北高校の単位制学科は、他の学区になく、不公平さをなくすために、普通高校との複数志願ができるようになりました。

例：第一志望—加古川北高 第二志望校—高砂南

### ◎学区再編の影響

今回の学区再編で上位校が難化するため、玉突き式に下位校まで少しずつ難化することが考えられます。このため特に中堅から下位の学校（特に高砂南・高砂高校など）は受験人数の大幅増がありえます。上位の難化が見込まれるので、中学校の現場が安全策で中堅下位の受験を指示してきそうなのが容易に想像されます。

### ◎高校へのアンケートの結果

2015年度から始まる兵庫県内公立高校の学区再編で、再編の対象になる高校のうち64.7%が、受験生が集中する学校とそうでないところの“学校格差”が拡大するとみていることが、神戸新聞社が実施したアンケートで分かった。

学区拡大で多様な生徒が集まることに期待する一方、高校の序列化や定員割れを不安視する声も目立った。アンケートは5～6月、現在の中学3年生が受験できる県内の国公立高校167校（高専、定時制などを含む）に実施。私立高校52校にも行った。国公立は全校、私立は88.5%から回答があった。

県内の公立高校の学区は15年度、現行の16から5学区に再編。受験生の選択肢が大幅に増える。学区再編で学校格差が広がるかどうか尋ねた質問では、新学区が適用される全日制普通科、総合学科がある高校のうち「そう思う」「ややそう思う」と回答した高校が計64.7%に上った。「そう思わない」「ややそう思わない」の計16.4%を大きく上回った＝グラフ。

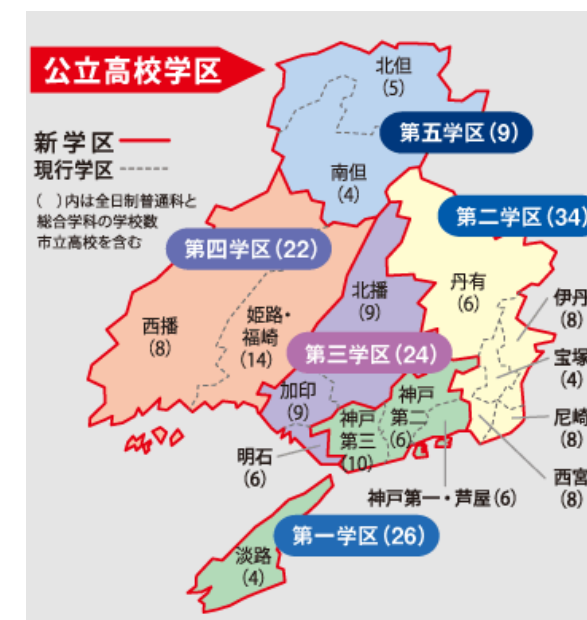
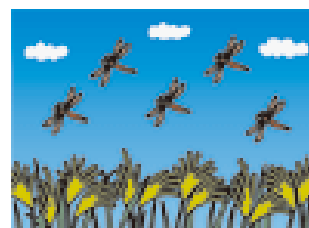
格差が拡大する理由は、交通の利便性や「進学実績のある伝統校に流れる」（第3学区・県立高校）など。再編への期待や懸念では「上位層の生徒をどれだけ取り込めるか期待」（第1学区・同）▽「地方の高校は定員割れに追い込まれる」（第4学区・同）-などの意見があった。

また、私立高校の73.9%は、学区再編が私立校にも影響すると回答。再編で公立校入試の合格ラインが読みにくくなるため「私立校の併願が増える」「入学者数の予想が難しくなる」という見方が目立った。（神戸新聞記事から）

### ■受験生が集まる学校と そうでない学校の格差は広がるか？



※ 四捨五入のため合計は100%にならない。



◎学区が再編された時に考えられる高校ランク

第3学区 24校(加印9校・明石6校・北播9校)

赤文字は加印学区、黒文字は他の学区、かつこなしは普通科

模試標準偏差値	合格目安となる学年順位 (6クラス240人規模)
加古川東高校	64 20番前後
小野高校	63 20番前後
加古川西高校	60 40番前後
東播磨高校	56 70番前後
明石北高校	56 70番前後
西脇高校	54 90番前後
加古川北高校(単位)	53 90番前後
三木高校	53 90番前後
明石城西高校	51 100番前後
明石高校	50 100番前後
高砂南高校	49 100番前後
北条高校	49 100番前後
加古川南高校(総合)	47 120番前後
社高校	46 120番前後
明石西高校	45 130番前後
高砂高校	44 130番前後
明石南高校(総合)	44 130番前後
三木北高校	44 130番前後
播磨南高校	43 140番前後
明石清水高校	42 140番前後
松陽高校	40 160番前後
三木東高校(総合)	40 160番前後
多可高校	36 190番前後
吉川高校	35 190番前後

◎複数志願でない高校

県農業(食品科学)	45
東播工業(I群)	43
東播工業(II群)	41
県農業(食品科学以外)	40
明石商業	39
播磨農業(農業・園芸)	38
播磨農業(畜産)	36



※ 7クラス280人規模の中学は、上記の順番プラス10番。

加古川東高校 20番前後⇒30番前後

高校入試特別講座『中3土曜特訓ゼミ』始まる！！

学区再編を来年度に控えた状況の中で、入試に必要とされる実力を磨き、確かな学力を身につけるため、中3生を対象に「中3土曜特訓ゼミ」を9月より開講しています。

「中3土曜特訓ゼミ」では、入試出題頻出分野のテーマ別学習を実施し、出題傾向の高い問題に的を絞って演習を進めます。例年この講座に参加している生徒は、かなりの成果を得ています。

この講座は月3回実施します(原則として第一土曜は実施しません)。授業は生徒の志望校・習熟度に応じて3つのクラスに分け、わかるまで、できるまで徹底して指導します。時間はいずれも午後1時30分から5時30分です。

「中3土曜ゼミ」で成すべき準備を整え、入試で持てる力を出し尽くした者が、最後に合格を掴むのです。「人事を尽くし天命を待つ」一緒に頑張りましょう。

□9月実施日(体育大会の実施日の違いによりやや変則的になっています)

- 6日(文系科目) 英国社英語リスニング実施
- 13日(理系科目) 数理別府教室・宝殿教室(神吉中・志方中)
- 20日(理系科目) 数理宝殿教室(宝殿中・鹿島中・荒井中)
- 27日(文系科目) 英国社英語リスニング実施

◎第12回「エクシードボーリング大会」のお知らせ

9/28(日)

場所 ラウンドワン加古川店(明姫幹線 尾上)

午後1時半～3時半(3ゲームトータルペアマッチ)

参加費 1,000円

表彰 第1～5位・10位・15位・20位・25位・30位・35位・40位ブービー賞・特別賞・塾長賞など多数・また全員に参加賞があります。みなさん、どんどん参加してください。

昨年度のボーリング大会⇒  
(宝殿教室生徒)

←模試を第二教室で受ける中3生  
(宝殿教室)

